大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

		· 大扫业老师传/京飞扫业老一 (1) · ·		
プログラム名	平成29年度 国際交	「平成29年度 国際交流担当者研修(受入担当者コース)」		
実施日時	2018年2月1日(木) 9:30~19:30 2月2日(金)9:30~12:00			
実施会場	キャンパスポート大阪ルームA			
担当講師名	①栗林知美(大阪府立大学 国際・地域連携課 総括主査) ②畑中みどり(大阪学院大学 国際センター 派遣留学コーディネーター) ③堀亜樹(桃山学院大学 国際センター 事務課 課長) ④塩川雅美(大阪市立大学 客員教授)			
講師略歴	< 研修統括「④塩川雅美」の略歴> 民間企業勤務経験を経て1988年より大学職員となる。 主に中小の私学において「国際交流」「大学広報」「入試広報」「大学改革」を担当。 国立大学法人京都工芸繊維大学国際交流センター助教授として留学生対象の授業担当経験あり。 JAFSA常任理事および研修委員、大学行政管理学会監事、大学マネジメント研究会理事など歴任。			
受講可能人数	20~30名(同時開催の「派遣担当者コース」の人数と調整)			
主な受講対象者	意欲のある大学職員〈所属部署不問> (特に「国際交流業務経験3年未満の者、または国際交流業務配置予定者」に有益)			
プログラム概要(目的)	この研修では、留学生受入担当者としての基礎知識、心構え、態度などについて学び、自大学における 「留学生受入業務」の拡充ができるようにすることを目的とします。			
プログラムの到達目標	 ①外国人留学生の種類を述べることができる。 ②留学生の受入れに必要な「入国手続き」「在留手続き」を述べることができる。 ③オン・キャンパスの留学生支援業務を述べることができる。 ④オフ・キャンパスの留学生支援業務を述べることができる。 ⑤留学生と日本人学生、地域との交流の事例を述べることができる。 			
	時間(90分~180分)	内 容		
	(2月1日)			
	1-1 9:30~11:30	入国手続き・在留手続き(大阪地方入国管理局の講演)		
	1-2 11:35~12:35	留学生受入のA to Z		
	1-3 13:35~14:35	受入れ留学生支援事業の事例		
	1-4 14:50~15:50	大学職員の業務の国際化		
プログラム内容	1-5 16:00~16:30	海外SD研修(台湾·台北)報告		
	1-6 16:30~17:00	振り返り		
	(2月2日)			
	2-1 9:30~10:00	アカルルナルサルサーボュルルナール		
	2 1 0.00 10.00	派遣学生向け準備教育と受入学生向け教育		
	2-2 10:00~10:30	派遣学生向け準備教育と受入学生向け教育地域と留学生の交流		
	2-2 10:00~10:30	地域と留学生の交流		
事前課題	2-2 10:00~10:30 2-3 10:40~11:10	地域と留学生の交流 バディー制度の紹介、宿所での日本人学生と外国人の交流機会の提供(事例紹介)		
事前課題 事後課題	2-2 10:00~10:30 2-3 10:40~11:10 2-4 11:20~12:00 特になし。 なし。 「1-1入国手続き・在留号	地域と留学生の交流 バディー制度の紹介、宿所での日本人学生と外国人の交流機会の提供(事例紹介)		

大学コンソーシアム大阪 SD研修プログラム シラバス

プログラム名	「平成29年度 国際交流担当者研修(派遣担当者コース)」		
実施日時	2018年2月1日(木)14:50~19:30 2月2日(金)9:30~17:00		
実施会場	キャンパスポート大阪ルームA		
担当講師名	①栗林知美(大阪府立大学 国際・地域連携課 総括主査) ②畑中みどり(大阪学院大学 国際センター 派遣留学コーディネーター) ③堀 亜樹(桃山学院大学 国際センター 事務課 課長) ④松井健太郎(大阪経済大学 教学・国際部 国際交流課) ⑤塩川雅美(大阪市立大学 客員教授)		
講師略歴	〈研修統括「⑤塩川雅美」の略歴〉 民間企業勤務経験を経て1988年より大学職員となる。 主に中小の私学において「国際交流」「大学広報」「入試広報」「大学改革」を担当。 国立大学法人京都工芸繊維大学国際交流センター助教授として留学生対象の授業担当経験あり。 JAFSA常任理事および研修委員、大学行政管理学会監事、大学マネジメント研究会理事など歴任。		
受講可能人数	20~30名(同時開催の「受入担当者コース」の人数と調整)		
主な受講対象者	意欲のある大学職員〈所属部署不問> (特に「国際交流業務経験3年未満の者、または国際交流業務配置予定者」に有益)		
プログラム概要(目的)	この研修では、留学生派遣担当者としての基礎知識、心構え、態度などについて学び、自大学における 「留学生派遣業務」の拡充ができるようにすることを目的とします。		
プログラムの到達目標	③渡航前教育、帰国後の	べることができる。 ②、運営のプロセスを説明できる。 の事後教育の企画、運営のプロセスについて説明できる。 クマネジメントの必要性について述べることができる。 、地域との交流の事例を述べることができる。	
	時間(90分~180分)	内 容	
	(2月1日)	上光明日の米をの同僚ル	
プログラム内容		大学職員の業務の国際化	
	1-2 16:00~16:30	海外SD研修(台湾·台北)報告	
	1-3 16:30~17:00	振り返り	
	(2月2日)	派遣学生向け準備教育と受入学生向け教育	
	2-2 10:00~10:30	地域と留学生の交流	
	2-3 10:40~11:10	バディー制度の紹介、宿所での日本人学生と外国人の交流機会の提供(事例紹介)	
	2-4 11:20~12:00	振り返り	
	2-5 13:00~14:00	学生派遣の A to Z	
	2-6 14:10~15:10	派遣プログラム紹介	
	2-4 15:20~16:20	学生派遣の リスクマネジメント	
	2-5 16:30~17:00	振り返り	
事前課題	特になし。		
	なし。		
事後課題	なし。		